
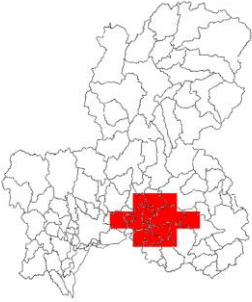


トキワシダ	<i>Asplenium yoshinagae</i> Makino	絶滅危惧 I 類
		チャセンシダ科
選定理由	生育地が少ないうえ、生育環境が崩落しやすい急峻な岩場という不安定な場所であるため、種の存続への圧迫に絶えずさらされている。愛好家による園芸採取も多い。	写真(高水正夫)
形態の特徴	常緑性のシダ。根茎は短く、斜上から直立し、葉身は披針形、1回羽状。	
生態的特徴	山林中の湿った岩上に生育する。	
分布状況	本州(関東地方・東海地方・紀伊半島)から沖縄に分布する。岐阜県では県南中部に分布する。	
減少要因	山林開発、岩場の自然崩落などによる生育地の消失。愛好家による採集圧も考えられる。	
保全対策	生育地や周辺地区の山林開発を控える。生育に関しては適度な空中湿度が大切であることから、周辺地区の乾燥化を特に注意しなければならない。	
特記事項		
参考文献		

文責:村瀬正成